

# 平成22年度 理事会・評議員会開催



4・5月号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
財団法人 茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 大塚 光  
印刷所  
富士オフセット印刷株  
(1部 15円)

平成二十二年(財)茨城県消防協会理事会・評議員会(いわゆる総会)が、五月七日(金)に茨城県市町村会館において開催されました。会議は、鈴木事務局長の司会進行により、まず、会議定足数の確認(定数七十二名のところ出席者六十九名、委任状提出者三名で過半数を超え、会議が成立)が行われ、その後、また体調が万全ではない大家会長に代わり、葉梨常任顧問から主催者の挨拶、続いて来賓を代表し県生活環境部の宮本危機管理課長らで挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

- ・県危機管理課 宮本 満 様
- ・県消防防災課長 遠藤 延男 様
- ・県立消防学校長 岩島 孝夫 様
- ・県消防防災課長補佐 飛田 剛利 様

続いて、葉梨常任顧問が議長となり、議事録署名人(日立市消防団長 今橋松男様/茨城町消防団長 長洲良男様)を選出した後、次の議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・議決されました。

- 報告第一号 平成二十一年 普通会計収支修正予算
- 報告第二号 平成二十一年 度 事業報告
- 認定第一号 平成二十一年 度 普通会計収支決算認定
- 議案第一号 平成二十一年 度 事業計画(案)
- 議案第二号 平成二十一年 度 普通会計収支予算(案)
- 議案第三号 役員補充
- 議案第四号 新公益法人への移行に伴う機関設計(案)
- 議案第五号 新公益法人への移行に伴う最初の評議員の選任方法(案)
- 議案第六号 新公益法人への移行に伴う定款等(案)
- 協議事項 平成二十二年 度の主な行事日程

なお、今年度は役員改選の時期ではありませんでした。大家会長が三月末をもって茨城県消防団長を退職され、併せて当協会の会長職も辞任されたことにより、新たに会長の選任が行われました。

審議の結果、新会長には常任理事会での推薦を受け、満場一致で葉梨常任顧問が選任されました。

大家会長におかれましては、三十三年の永きにわたり消防団長を務められ(団員歴五十六年)、また、平成十六年七月からは当協会の会長に就任し、本県消防の充実と当協会の発展に多大なるご尽力を頂きました。ここに消防協会関係者一同、大家会長のご功績に対しまして、改めて感謝申し上げます。

また、会長選任と併せて辞任に伴う役員補充も行われました。ここでは、新たに副会長、常任理事に選任された方々をご紹介します。

- 副会長 澤畑 浩行
- 常任理事 (ひたちなか市消防団長) 細金 秀隆

## 平成22年度財団法人茨城県消防協会事業計画

事業名	計画の概要
1 啓蒙普及事業 (1)機関紙「茨城消防」の発行 (2)火災予防運動 (3)「日本消防」の配布 (4)新聞紙上及びラジオによる防火・防災思想の普及	・「茨城消防」を隔月6,400部発行し、消防団・消防本部・その他消防関係者に配布する。 ・消防庁並びに(財)日本消防協会が行う秋季及び春季火災予防運動に呼応して、火災予防運動を展開し、火災予防思想の普及高揚を図る。 ・防火ポスターの配布 ・(財)日本消防協会が発行する「日本消防」を各市町村・各消防本部に毎月配布する。 ・新聞掲載及びラジオ放送による火災予防や防災の広報を行い、県民の防火防災思想の普及高揚を図る。
2 消防団活性化事業 (1)支部(地区)別団長等懇談会 (2)地域交流活動促進助成 (3)女性消防団結成促進助成	・県内6支部において、消防団長・消防団長補佐による懇談会を開催し、消防団活性化対策等についての意見交換を行う。 ・地域ぐるみの防災体制を促進するため、消防団員相互及び消防団と地域住民・企業等との交流活動等を行う消防団に経費の一部を助成する。 ・男女共同参画型社会の形成を推進し、女性の持つ特性を生かしながら消防活動を実施する女性消防団を、平成19年度から概ね3年程度で県内全市町村に結成されるよう促進を図ることとして、重点的に取り組んできた結果、平成22年4月現在で44市町村45消防団中32消防団に女性消防団が結成された。まだ結成されていない消防団が多少あることから、引き続き結成する消防団に対し、活動服の製作等に要する経費の一部を助成する。
3 教育指導事業 (1)消防操法審査員研修会 (2)消防団長研修会 (3)理事研修会 (4)支部消防団員教育訓練助成 (5)支部活動助成 (6)消防団員指導員研修会 (7)女性消防団結成促進大会 (8)海外消防事情視察研修助成 (9)消防長会助成 (10)消防継会助成 (11)婦人防火クラブ助成 (12)婦人防火クラブ指導者研修会助成 (13)茨城県幼少年婦人防火委員会助成 (14)日本消防協会消防団幹部研修・幹部候補中央特別研修 (15)住宅用火災警報器設置推進事業消防団指導員研修会	・消防ポンプ操法大会審査員養成のための研修会を開催し、審査技術の向上を図る。 ・消防団長を対象に、県と共催により研修会を開催し、消防団を巡る諸問題を、研究協議する。 ・消防協会理事・監事を対象に、県外等の消防事情視察研修を行う。 ・消防協会支部の行う教育訓練事業(操法・規律等)に要する経費の一部を助成する。 ・県内6支部の活動に要する経費の一部を助成する。 ・(財)日本消防協会の補助により、県立消防学校において消防団員指導員養成課程を実施する。 ・女性消防団の結成を促進するため促進大会を実施する。 ・(財)日本消防協会等主催の海外消防事情視察研修参加者に対し、その経費の一部を助成する。 ・消防長会を支援するため、研究会活動に要する経費の一部を助成する。 ・元消防団長等で構成する消防継会の活動を支援するため、経費の一部を助成する。 ・婦人防火クラブを育成・支援するため、県婦人防火クラブ連絡協議会に経費の一部を助成する。 ・自主防災対策に対する理解を深めるとともに、自主防災組織の整備を図るため、婦人防火クラブの指導者を対象に防火防災の研修会を実施する。 ・茨城県幼少年婦人防火クラブを育成・支援するため、茨城県幼少年婦人防火委員会に経費の一部を助成する。 ・(財)日本消防協会主催により実施される、消防団幹部特別研修に県内消防団幹部を、また消防団幹部候補中央特別研修に県内の比較的若い男女消防団員を派遣する。 ・住宅用火災警報器の設置を推進するため、指導的立場となる消防団員を育成し、住宅用火災警報器の設置推進活動を助長して、安全な地域社会の実現に資する。(各支部単位に研修会を実施)
4 大会開催及び全国大会参加事業 (1)消防大会 (2)消防ポンプ操法大会 (3)幼年・少年・婦人防火大会 (4)消防救助技術大会 (5)全国消防操法大会への出場 (6)第16回全国女性消防団員活性化奈良大会への参加 (7)出初式	・県と共催により消防防災思想の高揚と消防関係者の大同団結を図るため開催する。 ・消防職・団員・妻女等の定例表彰を行う。 ・消防団員の消防ポンプ操法技術の向上を図るため、県と共催で県内6地区で開催する。 ・県幼少年婦人防火委員会、県婦人防火クラブ連絡協議会と共催により県内の民間防火組織の交流を深め、火災予防思想の高揚を図るため開催する。 ・消防職員の救助技術の向上を図るため、消防長会に運営を委託して開催する。 ・(財)日本消防協会が主催する「第22回全国消防操法大会」が愛知県蒲郡市で開催されることから、昨年度の選考会において本県代表となった常総市石下消防団が自動車の部に出場する。 ・全国の女性消防団が一同に会する本大会に、県内の女性消防団員に参加を募り、全国の女性消防団の活動事例等を学習し、併せて全国の女性消防団員と意見交換をし、今後の活動の糧とする。 ・県内の消防出初式等に出席する。
5 福祉厚生事業 (1)日本消防協会定例表彰 (2)退職消防団員報償 (3)死亡消防職・団員表彰 (4)消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会 (5)消防殉職者慰霊祭 (6)弔慰見舞 (7)茨城県消防関係役員名簿の作成 (8)福祉共催制度等への加入促進	・日本消防協会定例表彰の候補団体・個人を推薦する。 ・在職期間5年～15年の退職消防団員に感謝状及び記念品を贈呈する。 ・在職期間5年未満の消防団員及び現職消防職員に感謝状を贈呈する。 ・春、秋消防関係者叙勲・褒章等の受章者を招待し、祝賀会を開催する。 ・殉職消防職・団員の遺族を招いて慰霊祭を執行する。 ・傷病、死亡等の会員に弔慰見舞金を贈呈する。 ・消防団・消防本部幹部の退団や異動に伴い、茨城県消防関係役員名簿に変更が生じているため、これを新たに作成し消防関係機関に配布する。 ・(財)日本消防協会が行う福祉共催制度等への消防団員加入促進を図る。
6 海外支援事業 海外消防機関への災害時の義援及び消防資機材の寄贈等	・海外の災害に対する義援及び消防資機材等の不足により、消防活動に支障をきたす国に対し、国際交流として、使用した消防自動車等を寄贈する。

- 鹿行支部 野口 来
- 常任理事 (神栖市消防団長) 泉 孝友
- 副会長 (潮来市消防団長) 木内 倉治
- 常任理事 (水戸市消防団長) 井坂 沢守
- 常任理事 (かすみがうら市消防団長) 岡田 亮一
- 消防職員 (つくばみらい市消防団長) 式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(岩島校長)、知事告辞(遠藤県消防防災課長)、続いて県消防協会長の来賓祝辞(鈴木事務理事)がありました。

今後、消防学校において、心身の鍛



学生宣誓をする初任科生代表の山本消防士(水戸市消防本部)

## 県立消防学校 初任科入校式

今年度の消防職員初任教育は五年ぶりに二期制となり、まず前期の第八十九期入校式が、四月八日(木)午前十時から県立消防学校において、県内二十三消防本部から総勢九十六名の学生を迎え挙行されました。

式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(岩島校長)、知事告辞(遠藤県消防防災課長)、続いて県消防協会長の来賓祝辞(鈴木事務理事)がありました。

今後、消防学校において、心身の鍛

## 消防団員入団促進 キャンペーンを実施



岩間駅前でのチラシ配布

地域防災力の要として大きな役割を担っている消防団の重要性を周知し、年々減少傾向にある消防団員の加入促進を図る目的で、等間市消防団は二月二十四日、同市内のJR線駅(前・笠間・友部・岩間)において、「消防団員入団促進キャンペーン」を開催しました。

前では、参加した消防団員(支隊長等男性団員十二名・女性団員六名ほか)から通動・通学客を対象に広報用のチラシを配布しました。

### 定期人事異動

平成二十二年(財)茨城県消防協会理事・評議員会(いわゆる総会)が、五月七日(金)に茨城県市町村会館において開催されました。会議は、鈴木事務局長の司会進行により、まず、会議定足数の確認(定数七十二名のところ出席者六十九名、委任状提出者三名で過半数を超え、会議が成立)が行われ、その後、また体調が万全ではない大家会長に代わり、葉梨常任顧問から主催者の挨拶、続いて来賓を代表し県生活環境部の宮本危機管理課長らで挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

- ・県危機管理課 宮本 満 様
- ・県消防防災課長 遠藤 延男 様
- ・県立消防学校長 岩島 孝夫 様
- ・県消防防災課長補佐 飛田 剛利 様

続いて、葉梨常任顧問が議長となり、議事録署名人(日立市消防団長 今橋松男様/茨城町消防団長 長洲良男様)を選出した後、次の議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・議決されました。

- 報告第一号 平成二十一年 普通会計収支修正予算
- 報告第二号 平成二十一年 度 事業報告
- 認定第一号 平成二十一年 度 普通会計収支決算認定
- 議案第一号 平成二十一年 度 事業計画(案)
- 議案第二号 平成二十一年 度 普通会計収支予算(案)
- 議案第三号 役員補充
- 議案第四号 新公益法人への移行に伴う機関設計(案)
- 議案第五号 新公益法人への移行に伴う最初の評議員の選任方法(案)
- 議案第六号 新公益法人への移行に伴う定款等(案)
- 協議事項 平成二十二年 度の主な行事日程

なお、今年度は役員改選の時期ではありませんでした。大家会長が三月末をもって茨城県消防団長を退職され、併せて当協会の会長職も辞任されたことにより、新たに会長の選任が行われました。

審議の結果、新会長には常任理事会での推薦を受け、満場一致で葉梨常任顧問が選任されました。

大家会長におかれましては、三十三年の永きにわたり消防団長を務められ(団員歴五十六年)、また、平成十六年七月からは当協会の会長に就任し、本県消防の充実と当協会の発展に多大なるご尽力を頂きました。ここに消防協会関係者一同、大家会長のご功績に対しまして、改めて感謝申し上げます。

また、会長選任と併せて辞任に伴う役員補充も行われました。ここでは、新たに副会長、常任理事に選任された方々をご紹介します。

- 副会長 澤畑 浩行
- 常任理事 (ひたちなか市消防団長) 細金 秀隆

### 消防団員募集中!

地域の安全と安心を守る

が手渡され、用意したチラシは一時程度で無くなったそうです。

また、このキャンペーンでは、昨年度当協会で作成した、県内六支部に配布したノボリ旗も活用されました。

等間市消防団では、この活動が功を奏し、昨年度より十七名多い四十九名の新任団員が入団しました。これからの活躍が大いに期待されることです。

定期人事異動

茨城県 生活環境部長(土木部理) 宗像 達夫

茨城県 危機管理課長(生活環境部) 栗田 則夫

茨城県 消防防災課長補佐(総括)(水・土地計画課) 宮本 満

茨城県 消防防災課長補佐(総括)(水・土地計画課) 長補佐 宗像 達夫

# 日本消防協会主催。消防団幹部候補中央特別研修に参加して

前号に続き第九回消防団幹部候補中央特別研修女性団員の部に参加された筑西市消防団、本橋万梨奈さんの寄稿文を紹介いたします。

二月二十二日から三日間、私は北は北海道、南は沖縄まで全国の女性消防団員が東京に集結した消防団幹部候補中央特別研修に参加しました。この研修では予め与えられた四つの課題について四班に分かれて討議をする課題討議の時間があり、私は「女性消防団の役割について」をテーマに話し合いました。この課題討議で私たちは、女性ならではの役割が多く、

その役割は重要としたうえで、女性消防団が活動するにあたって、女性消防団の認知度が低いことから、まず女性消防団自体をPRし、理解を求めたい、そして活動する団員はお互いの意識を高め合う必要があるという結論を出しました。

また、全国の女性消防団が抱える問題はそろって活動団員の不足でした。女性は育児や、最近増加した共働きの影響もあり、なかなか活動に参加できないことから退団する団員が多いという現状もありました。

私たちが筑西市の女性消防団防の広報活動などを通してPR活動を行う女性消防団が多い中、音楽隊やローカルヒーロー、イベント等で歌って踊り防災予防を啓発しているところが多いことに驚きました。

であった私は、また先の話だと考えていた結婚や出産、育児など女性ならではの問題が女性消防団に大きな問題をもたらしていることに気づかされ、また全国の女性消防団員の方とふれあい、女性消防団というものの重要性を改めて痛感するなど、大きな刺激を受けられました。

会場となった大洗町の「鶴松亭」には各都県の会長さんや副会長さんが集まり、本県からは葉梨会長のほか、地元大洗町の米川副会長とひたちなか市の澤畑副会長が出席しました。

日本消防協会では、五月二十日の代議員会において、役員改選が行われ、第十代会長に北海道消防協会会長の高木繁光氏が就任しました。併せて、副会長、理事及び監事の改選も行われ、本県の

「研修に参加して」筑西市消防団女性分団 本橋万梨奈

二月二十二日から三日間、私は北は北海道、南は沖縄まで全国の女性消防団員が東京に集結した消防団幹部候補中央特別研修に参加しました。

また、全国の女性消防団が抱える問題はそろって活動団員の不足でした。女性は育児や、最近増加した共働きの影響もあり、なかなか活動に参加できないことから退団する団員が多いという現状もありました。

私たちが筑西市の女性消防団防の広報活動などを通してPR活動を行う女性消防団が多い中、音楽隊やローカルヒーロー、イベント等で歌って踊り防災予防を啓発しているところが多いことに驚きました。

会場となった大洗町の「鶴松亭」には各都県の会長さんや副会長さんが集まり、本県からは葉梨会長のほか、地元大洗町の米川副会長とひたちなか市の澤畑副会長が出席しました。

日本消防協会では、五月二十日の代議員会において、役員改選が行われ、第十代会長に北海道消防協会会長の高木繁光氏が就任しました。併せて、副会長、理事及び監事の改選も行われ、本県の

葉梨会長が理事（任期二年）に就任されました。葉梨会長には、ますます公務多忙となりますが、お体ご自愛のうえ本県消防のため引き続き、ご尽力方、よろしくお願いたします。（事務局）

# 平成二十二年 春の叙勲・褒章

平成二十二年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。

本県からは、春の叙勲が十一名、危険業務従事者叙勲が十三名、藍綬褒章が一名、合計二十五名の皆様を受章の栄に浴びました。

略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。

## 春の叙勲

### 瑞宝双光章

○飯泉 信（七十二）

元 筑西市消防団 団長

消防歴 四十四年

○栗原 宣美（六十五）

元 土浦市消防団 団長

消防歴 四十四年

○土浦市在住

○郡司 冽（七十一）

元 茨城町消防団 団長

消防歴 四十二年

○茨城町在住

○根本 新一（七十三）

元 稲敷市桜川消防団 団

副団長

### 瑞宝単光章

○大川 恵司（六十九）

元 鹿嶋市消防団 副団長

消防歴 三十三年九月

○鹿嶋市在住

○河原井 淳（七十四）

元 七会村消防団 分団長

消防歴 四十八年十月

○城里町在住

○菊池 春雄（七十二）

元 常陸大宮市山方消防団

副団長

○倉持 一夫（七十四）

元 常総市

消防歴 四十一年十月

○常陸大宮市在住

○利根町在住

○富岡 至豊（六十九）

元 北茨城市消防団 分団

長

消防歴 四十五年四月

○北茨城市在住

## 第十四回危険業務従事者叙勲

### 瑞宝双光章

○影山 義雄（七十四）

元 稲敷広域 消防監

消防歴 三十三年六月

○龍ヶ崎市在住

○安村 豊（六十八）

元 日立市 消防監

消防歴 四十年六月

○日立市在住

○山田 節（七十）

元 常総広域 消防正監

消防歴 三十九年一月

○常総市在住

○永井 清（七十六）

元 勝田市 消防司令長

消防歴 三十六年十月

○ひたちなか市在住

○富岡 清（七十）

元 日立市 消防監

消防歴 四十年

○ひたちなか市在住

○西野 忠（七十三）



危険業務従事者叙勲伝達式（日本青年館）

○飛田 和義（六十三）

元 北茨城市消防団 団長

消防歴 三十八年五月



北茨城市消防団 飛田団長

## 藍綬褒章

五月七日の理事会・評議員会の承認を得て二十二年度の事業がスタートしました。今年度は新公益法人への移行に向けた作業も本格的になります。気合いを入れて頑張ります。

いつものことですが、「茨城消防」では消防に関する行事や珍事など、記事の提供をお待ちしております。（な）

## 編集後記

五月七日の理事会・評議員会の承認を得て二十二年度の事業がスタートしました。今年度は新公益法人への移行に向けた作業も本格的になります。気合いを入れて頑張ります。

### Panasonic

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614 (代表)  
FAX.029-224-4613

千波営業所 水戸市千波町海通付2027番地  
TEL.029-241-3636 (代表)  
FAX.029-244-0540

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498 (代表)  
FAX.029-822-6575

### トーハツ 小型ポンプ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車・消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**

水戸市東原3-6-24  
TEL.029 (224) 3324 (代)  
FAX.029 (224) 3360

10mから50mモリタの梯子車  
モリタの技術と設備は20種類以上の消防防災、総ての車を造ります。

完全水冷ラジエータ式、強制空冷式シバウラ小型消防ポンプ  
SFシリーズ、TFシリーズ独特の2本立で総ての機能を具えております。

消防・防災用品全般、火の見櫓撤去・移設、ホスポール建立

茨城県代理店  
**(有) 鈴 機**

石岡市国府5-2-25  
TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846